

水稲用初・中期一発処理除草剤

マスラオ[®]

フロアブル

雑草、成敗いたす。

田植同時散布にも
直播水稲にも使用可能

ハビエ



ホタルイ



コナギ



オモダカ



ミズアオイ



マスラオ®フロアブル

有効成分

イマズスルフロン…1.7%
ピリミノバックメチル…1.2%
フェンキノトリオン…5.8%

➡ 移植水稲、直播水稲（表面播種・土中播種・乾田直播）に使用可能！

● 移植水稲 … 田植同時、移植直後～ノビエ3葉期まで ● 直播水稲 … 稲1葉期～ノビエ3葉期まで

※乾田直播の場合は入水5日後以降（ただし稲1葉期以降）に散布。

➡ 新規有効成分フェンキノトリオンを配合し

SU抵抗性雑草を含むホタルイ、コナギ、ミズアオイ、オモダカに高い効果を発揮！

適用と使用方法

農林水産省登録 第24167号

主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ エゾノサヤナカグサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500mℓ /10a	1回	田植同時 散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで			原液湛水散布
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

ホタルイ	3葉期まで
ウリカワ	3葉期まで (直播水稲は2葉期まで)
ヘラオモダカ	2葉期まで
ミズガヤツリ	草丈15cm以下まで (直播水稲は10cm以下まで)
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで (直播水稲は再生期まで)
エゾノサヤナカグサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

イマズスルフロンを含む 農業の総使用回数	2回以内
ピリミノバックメチルを含む 農業の総使用回数	2回以内
フェンキノトリオンを含む 農業の総使用回数	2回以内

(上記の内容はすべて2020年4月現在の登録内容)

上手な使い方[散布量/500mℓ(1本)]

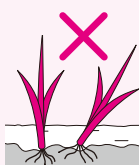
均平化作業・植付けはていねいに！

田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・薬害の原因になることがあります。



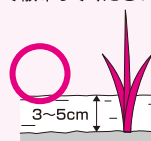
移植深度は適正に！

極端な浅植では根が露出し薬害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。



散布時の注意！

散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。



散布後の注意！

散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。



使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 使用前に容器をよく振ってください。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにしてください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにこなしてください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいにおこなってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなってください。
- 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ① 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
 - ② 軟弱な苗を移植した水田。
 - ③ 極端な浅植えの水田。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえてください。
- 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 散布の際は不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 空袋・空容器は農場等に放置せず適切に処理してください。

02R4D20M19:ZS

2020年4月作成(全企企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

